

降誕節第8週 主日礼拝

2015年2月15日 第一礼拝(8:00～) 第二礼拝(10:30～) 夕拝(19:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ローマ人への手紙』12章4-8節	司会者	同
※開会の賛美	新聖歌20「主の眞実はくしきかな」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	同
感謝の賛美	新聖歌257「キリストは生きておられる」	—	同
聖書朗読	『出エジプト記』35章1-29節(旧約159頁)	司会者	同
聖書黙想	—	同
説教	「心から進んで」	近伸之 牧師	
黙想	—	同
※応答の賛美	新聖歌428「キリストには代えられません」	—	同
感謝の献金	(新聖歌55)	—	同
感謝祈禱	片山 敬子姉	
諸案内	(来信と集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介と諸報告)	近伸之 牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こぞりて」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之 牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

司会	近伸之牧師	音響・映像	横堀 正美兄	C S 担当	小林 洋子姉
集會	笹川 清子姉	演奏・操作	横山 洋平兄	掃除	佐藤 鈴子姉
		説教の録画	山崎 敬典兄		

説教メモ

- 35章の背景は、直前の「金の子牛事件」(32-34章)にある。イスラエルの背信にかかわらず、神は安息日規定を更新し(35:1-3)、神の臨在の証しである幕屋の建設を命じた。民はその恵みへの応答として、それぞれ心に示されて、さげた。礼拝への喜びが、「心から進んで」(5, 21, 22, 29)の原動力。
- パウロは、新約書簡の至る所で、教会がキリストのからだであり、与えられた御霊の賜物を駆使して奉仕に励み、成熟をめざすべきことを書いている(ロマ12:1-21、第一コリント12:1-13:13、エペソ4:1-16)。時代によって不要になった奉仕もあれば、その逆の場合もある。しかし変わらないのは、奉仕とは第一に礼拝のためのものであること、そして必要な御霊の賜物がひとり一人に与えられているということ。

礼拝を、教会活動および生活行動の最優先順位に置くと、信仰生活は義務から自発へと変わる。そして神は、必要な賜物を私たちに与えてくださり、教会をキリストのからだにふさわしく建て上げてくださる。

個人、団体からの来信

2015年2月15日

TCUより領収書と献金感謝状／
「いのちがいちばん輝く日～あるホスピス病棟の40日」上映会&講演会のお知らせ
【3/1(日) 15:00 日本伝道福音教団・新潟聖書教会にて】

先週の集会出席者数

2/8(日)	教会学校	幼児男子2 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性-		
		幼児女子2 小学女子2 中学女子1 高校女子-	7名	成人女性2
2/8(日)	第一礼拝	男2 女4 計6	2/9(月)	月曜家庭集会 (休会)
	第二礼拝	男11 女19 計30 子4	2/12(木)	新潟山形僚禱会 男3 女6 計9
	夕拝は「信教の自由」講演会に合流		2/13(金)	しゃべり場タビタ 男- 女3 計3
2/11(水・祝)温泉		男6 女9 子4	2/13(金)	金曜祈禱会 男- 女4 計4

諸集会のご案内

2/16(月) 20:00～	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅	
2/18(水) 19:30～	救禱会	教会堂	司会: 片山 勝三兄
2/20(金) 13:30～	しゃべり場タビタ	渡辺智子姉宅	問合先: 小山 千春姉
2/20(金) 夜	金曜祈禱会	教会堂	

2/22(日) 降誕節第9週

第一礼拝 8:00～	司会: 近伸之牧師	音響: 片山 勝三兄	
教会学校 9:00～	担当: 片山 初子姉		
歓迎礼拝 10:30～	司会: 片山 勝三兄 集會: 小山 千春姉	音響・映像: 横堀 正美兄 賛美リード: 賛美チーム 説教の録画: 山崎 敬典兄	感謝祈禱: 片山 初子姉 掃除: 小山 千春姉
主日の予定	教会総会	午後1:00～	礼拝堂
礼拝について (歓迎礼拝)	第一部: 賛美チーム 応答: 「わが心つくりかえたまえ」	頌栄: 198 「God bless you」	派遣: 53 「主の祈り」
夕拝 19:30～	司会: 近伸之牧師		

報告

- 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。礼拝後は昼食をいただき、午後2時からカナン訪問を行います。ひとり一人の奉仕と証しが祝福されますように。
- 新潟福音放送協力会のため
2/21(土) 三条福音キリスト教会において新潟福音放送協会有志によるチャリティー音楽発表会が開催されます。14:00開演となります。放送伝道の働きが経済的に安定しますように祈りましょう。詳細は、礼拝堂後ろの掲示板にご覧いただけますので、ご覧ください。

●的を射抜く

京都の三十三間堂というところでは、通し矢という行事が年頭に行なわれます。今年のための、ひいては人生の目的へ、ズバリ命中をという願いをこめて矢を射るのでしょう。的を見事に射抜くということに、私たちは胸のすくような爽快感を持ちます。

●的はずれ

ところで、私たちの人生はほんとうに的を射抜いた歩みをしているのだろうかと考えてみる必要があります。新約聖書に多く出てくる「罪」という言葉は、ギリシャ語で「ハマルテイヤ」といいますが、これは元々は「的をはずす」という意味だそうです。人間は神によって造られたものですから、このお方の御心に的を絞った生き方をすることこそが、人間の本来的な在り方にほかなりません。ですから、これからはずれた人生に、意味も目的もあるはずがなく、全く見当はずれの人生で終わってしまうことになるのは当然です。

旧約聖書のヨナという人の話はその典型的な例です。ヨナは神さまから「二ネベの町でわたしの言葉を伝えなさい」と言われたのに、違う方向へ向かい、その航海中に大嵐に会い、海に投げ込まれ、大魚に吞まれてしまいました。奇

跡的に助けられました。そこで彼が悟ったことは、的はずれの生き方には祝福がなく、あるのは滅びだけだということでした。

●どこから来て、どこへ…

「人間はどこから来て、どこへ去るのか…誰でも少なくとも一生に一度はこの疑問の解答を求める。しかし残念ながら大抵の人は、この答えを得ないでその一生を終わる」と、ヒルティは『幸福論』の中で言っています。

イエス・キリストは「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです」、更に「わたしの証言は真実です。わたしは、わたしがどこから来たか、また、どこへ行くかを知っているからです」(『ヨハネの福音書』8章12-14節)とも言われました。

このように、イエス・キリストだけが、人間にとって最大の疑問に答え得る唯一のお方です。ですから、このお方を信じ従う時はじめて、人生の目的に沿う、的を射抜いた人生を生きることができるようになるのです。

週 Weekly Bulletin 報



春の花、「満天星」。枝の分かれ方が灯台の脚部に似ているので、トウダイ転じてドウダンになったという。

2014年度教会目標 「互いに励ましながら」

年間目標 牧師・信徒がそれぞれ同じ教会のからだの一部分であることを自覚し、とりなし、励ます教会へ「ただ強く、雄々しくあってください」(ヨシヤ1:18b)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「キリストの御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めたのです」(ロマ15:20)

ライフライン 毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。 ☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



2/21(土)「憐れみの器」高橋文子さん ■メッセージ:岩井基雄

銅版画家・造形作家の高橋文子さんは、クリスチャンとして生活する中で、自身が励ましを受けた聖書のことばを題材に作品製作を行っている。この3月には、東日本大震災後の4年間で製作してきた作品を中心に「憐れみの器」というテーマで個展を開く予定をしている。高橋さんの工房を訪ね、お話を伺うとともに製作の様子や作品を紹介する。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN。ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区 豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: http://www.toyosakakyokai.com

電子メール: info@toyosakakyokai.com

ブログ: http://toyosakakyokai.seesaa.net

